

OCZ ストレージソリューション、NVM Express 対応 SSD

「Z-Drive 6000」シリーズを発表

-エンタープライズ向けストレージの未来はここに-

2015 年 6 月 26 日 -OCZ ストレージソリューション、San Jose/台湾・新北市-東芝のグループ企業のひとつで、コンピュータデバイスおよびシステム向け高性能 SSD のトップ企業 OCZ ストレージソリューション(以下、OCZ)は、拡張されたエンタープライズ向け機能と堅牢な耐久性と信頼性を実現した PCI Express 3.0 と Non-Volatile Memory Express (NVMe) 技術を装備した「Z-Drive 6000」シリーズを発表しました。NVMe 対応の Z-Drive6000 シリーズでは、フォームファクタ、容量、耐久性評価に応じたさまざまなラインナップをご用意しています。



NVMe は、従来の PCI Express フラッシュストレージ規格を新しいレベルへ拡張し、不揮発性メモリベースの SSD 特有のメリットが最大限活かせるよう構築されています。本仕様は、効率化されたメモリインターフェース、コマンドセット、およびキューデザインにより重要なデータへの高速なアクセスと耐久性に優れたストレージ性能を実現しています。これにより、システム開発者とストレージベンダーのどちらでも、ストレージ、デバイス、ホストプラットフォームおよびソフトウェアの間における広範囲な相互サポートができる標準仕様に基づいてストレージエコシステムにおける別々のパートを設計できるようになります。NVMe は、より高速、良質、堅牢なフラッシュベースのストレージアプリの新しい可能性を開き、今後 5 年間の PCI Express SSD 展開を劇的に伸ばすことが期待されています。

「NVMe SSD の市場は立ち上げの準備が整い、今やフラッシュとプロセッサの間の効率的なストレージインターフェースが提供できるようになった」と Objective Analysis の Jim Handy 氏は説明します。また、同氏は「NVMe SSD 市場へ強力な製品を投入して早期に参加することにより、OCZ は業界トップになるチャンスを得た」と指摘します。



「Z-Drive 6000」シリーズの構成は、高性能かつ I/O レスポンスの低遅延を前提とした、現在と今後のストレージに要求される並列性と容量拡張性を満たす数値計算、分析、オンライン取引、クラウドベースといったエンタープライズアプリに適しています。シリーズのラインナップは以下の通りです。

・Z-Drive 6000 SFF シリーズ

読み込み重視型用途向けです。2.5 インチの SFF に準拠し、容量は 800GB、1.6TB、3.2TB が用意されています。シーケンシャルリードで最大 2,900MB/秒、シーケンシャルライトで最大 1,900MB/秒、ランダムリードで最大 700K IOPS、ランダムライトで最大 160K IOPS という、このクラスでは最高の性能を誇ります。さらに、書き込み遅延は最低 25 μ s、読み込み遅延は最低 80 μ s を誇ります。2015 年第2四半期から出荷予定です。

・Z-Drive 6300 SFF シリーズ

読み書き混在型用途向けです。2.5 インチの SFF に準拠し、容量は 800GB、1.6TB、3.2TB、6.4TB が用意されています。シーケンシャルリードで最大 2,900MB/秒、シーケンシャルライトで最大 1,400MB/秒、ランダムリードで最大 700K IOPS、ランダムライトで最大 120K IOPS という、世界有数の性能を誇ります。さらに、書き込み遅延は最低 30 μ s、読み込み遅延は最低 80 μ s を誇ります。容量が 800GB から 3.2TB までの製品は 2015 年第2四半期から出荷予定です。また、容量が 6.4TB の製品は今年後半の出荷を予定しています。

・Z-Drive 6300 AIC シリーズ

読み書き混在型用途向けです。ハーフハイト/ハーフレングス(HHHL)アドインカード規格に準拠し、容量は 800GB、1.6TB、3.2TB、6.4TB が用意されています。AIC シリーズの出荷は 2015 年の後半を予定しています。

Z-Drive 6000 シリーズでは、デュアルポート機能のサポートも予定しています。これにより、二つのホストシステムが同時に同じデバイスにアクセスすることや、逆にホスト内での冗長性を実現することができます。システム内で故障が発生したとき、片方のデータパスに問題が起きたとき、もう片方の生きているデータパスが何事もなかったかのように Quality of service (QoS) におけるデータを損失することなくもうひとつのポート経由で業務を継続します。さらに、Z-Drive 6000 シリーズは、さまざまなエンタープライズエコシステムに対応するために、2.5 インチドライブのホットスワップ、電源閾値設定、温度調整機能をサポートしています。

「われわれの NVMe 実装は、OEM で要求されるエンタープライズシステムにおける一秒あたりのランダム I/O オペレーションの劇的増加と I/O 遅延の劇的減少をもたらした。」と、OCZ ストレージ



レビューの CTO である Daryl Lang 氏は語っています。「NVMe 標準は OEM メーカーにとって新たにプラットフォームとインフラ環境に参画する機会が与えられたことを意味し、われわれの Z-Drive 6000 シリーズは大容量、デュアルポート、ホットスワップ可能な 2.5 インチデバイス、そして HHHL アドインカード規格に支えられた最先端のパフォーマンスを提供します。これらにより、本シリーズはこのクラスでは最高のパフォーマンスと最大の堅牢性という地位を得ています。

Z-Drive 6000 シリーズでは NVMe によりストレージスタックを最適化しプロトコル遅延を減少させることで、パフォーマンスと効率性を旧世代の Z-Drive と比較して劇的に向上させました。PCI Express 3.0 の帯域幅により Z-Drive 6000 ファミリーは最大 2.9GB/秒というトップクラスの安定した転送速度を実現しています。また、NVMe の効率性により Z-Drive 6000 は読み込みで最大毎秒 700,000 I/O リクエスト、書き込みで最大毎秒 160,000 I/O リクエストを処理することができます。さらに、Z-Drive 6000 は、4KB の読み込みでの I/O 遅延がたった 25 μ s、4KB の書き込みでの I/O 遅延は 80 μ s と、安定かつ変動が予測範囲内の低遅延を誇ります。

Z-Drive 6000 ファミリーのパフォーマンスは、OEM のお客さまのエンタープライズクラスの集約されたストレージシステムもサーバーキャッシュアプリケーション、仮想アプリケーションに対する厳しい条件を満たし、新しい収益源を創り出す新たなプラットフォームとインフラ環境を提供するものです。

OCZ では、現在 NVMe 対応の Z-Drive 6000 と Z-Drive 6300 SFF モデルを、主要なお客様とパートナーへサンプル提供しています。「OCZ の新 NVMe 対応 Z-Drive 6000 シリーズのご紹介」と題されたホワイトペーパー(英文)をご用意しています。また、Z-Drive 6000 SSD シリーズに関する製品情報は下記リンクをご参照ください。

【ホワイトペーパー】

<http://ocz.com/enterprise/literature/white-papers>

【製品情報】

<http://ocz.com/enterprise/z-drive-6000-pcie-nvme-ssd>



□お客さまからのお問い合わせ先

株式会社アスク(OCZ ストレージソリューション 日本正規代理店)

東京都千代田区九段南 4-8-21 山脇ビル 11 階

TEL: 03-5215-5654、FAX: 03-5215-5651

担当: 田中寛

E-mail: apac_mkt@ocz.com

□報道関係者さまからのお問い合わせ

jppr@cybermedia.com.tw

OCZ ストレージソリューションについて

東芝のグループ企業の一つである OCZ ストレージソリューションは、高性能なクライアント向けおよびエンタープライズ向け SSD のリーディングプロバイダであり、東芝の完全子会社です。SSD の完全なラインナップを提供すべく、OCZ ストレージソリューションでは、多種多様な用途に適用できるよう、独自の技術を活用し、さまざまなフォームファクターやインターフェースに対応しています。OCZ は、SSD ハードウェア開発のみならず、ファームウェアやコントローラ、仮想化技術、キャッシュおよびアクセラレーションソフトウェア技術、データの信頼性やストレージの耐久性を高める技術などを、すべて内部で開発しています。また、OCZ は顧客の要望に応じて、データの保存、アクセス、分析などの機能を垂直統合したソリューションも展開しています。なお、このほかの情報は、<http://www.ocz.com/> をご参照ください。